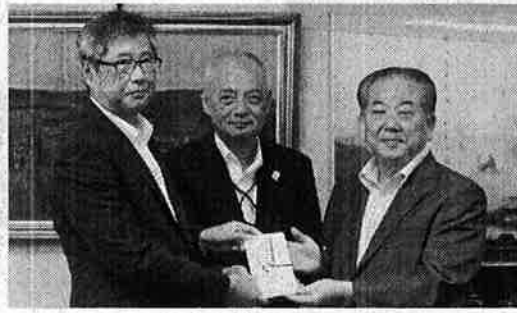


## 山口の技工団と 協力が50万円

熊本地震義援金

山口市の建設会社、技工団（作間悦次社長）と、同社の協力企業でつくる技工団防災協力会（横山省吾会長）は1日、熊本地震の義援金として計50万円を市に寄託した。日本赤十字



社を通じて被災地に届けられる。

作間社長と横山会長が市役所を訪れ、渡辺純忠市長に義援金を手渡した。

渡辺市長は「気持ちも一緒に届けたい」と謝辞を述べた。

被災した熊本城の修復工事への協力なども検討したが、確実な方法として義援金を贈ることにした。

作間社長は「創業者が熊本出身で縁も深い。何かしなくてはと考えた」、横山会長は「1日も早い復興をお祈りしたい」と話した。

渡辺純忠市長に義援金を手渡す技工団の作間悦次社長（中央）と同防災協力の横山省吾会長（左）11日、山口市

## 山 口 新 聞

2016年（平成28年）8月2日 火曜日